



# Safe Crop Project News



No.32 2021年1月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

## 2020年消費者意識啓発活動の報告

今号では、今後の活動継続を見据え、現地政府主導のもとで実施された、学校教育プログラムを始めとする2020年消費者意識啓発活動を集めてご紹介します。

### これまでのコミュニケーション活動

プロジェクトがハノイ市農業農村開発局(DARD)および教育訓練局(DOET)と実施する安全野菜に関する認知・関心を高める消費者意識啓発活動は、今年で4年目を迎えました。2017年は、小学4年生が安全野菜の正しい選び方を学校教育プログラムで学び、「安全野菜と明るい未来」というタイトルでポスターを描きました。2018年は、安全野菜がどのように生産・管理・販売されて消費者の手元に届くか、という「安全野菜の旅」を10年生(ベトナムの高校1年生)が学び、「安全野菜をうちにもって帰ろう」というスローガンでスライドショーを制作しました。2019年は、7年生(ベトナムの中学2年生)<sup>\*1</sup>が同じ「安全野菜の旅」をテーマに学習し、同じ「安全野菜をうちにもって帰ろう」というスローガンでポスターを描きました。

また消費者は安全野菜に関心をもつとまずインターネットで販売店や生産者について検索することが初期調査で明らかになっていたため、学校教育やポスターなどで関心を喚起された消費者の受け皿として、プロジェクトはHanoi Promotion Agency(HPA)と安全野菜に関する情報ハブとなるウェブサイト(nongsanantoanhanoi.gov.vn)を考案・開発し、2018年にローンチしました。以下にプロジェクト最終年であり、4年間の集大成となる今年のコミュニケーション活動について報告させていただきます。

### 意識啓発活動のターゲットと教育プログラム対象者

本意識啓発活動については「次世代教育?」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実際はちょっと違います。学校教育プログラムでは、プロジェクトで制作した教育リーフレットとビデオで、生徒はまず「安全野菜の旅」について学びます。その後、学校で学んだことを親に伝える宿題に取り組みます。こうして、生徒を介して親の関心を喚起しながら安全野菜に関する正しい知識を伝達し、野菜の購買意思決定者である親の行動変革を促すことが最終目的です。

これまで毎年、父兄や教師からも「親子の交流が促進されてよい」「うまく親を巻き込めるプログラム」「親の前向きなサポートが見られる」とポジティブな評価をいただいております。3年間の異なる対象と活動を考慮した結果、7年生は学習したことをきちんと親に伝えられる年齢であり、かつポスターを描くことを素直に楽しめる年代ということで、持続性(実施の再現性)とより高い効果が期待される実施方法として「7年生の学校教育とポスター制作」を今後の消費者啓発活動のモデル形式とすることになりました。



学校教育プログラム実施の様子

### 教育プログラムと安全野菜ウェブサイト拡散の融合

4年目を迎える2020年は、教育プログラムと、もう一つの活動の柱であるHPAのウェブサイト紹介を連携させることで、教育プログラムとウェブサイト紹介の相乗効果の発現を目指しました。

これまで、本サイトを拡散するために、宿題にはサイトへのアクセスを促す質問を、ポスターにはサイトのURLを紹介するというルールを、そしてポスター展示会会場ではHPAによるこのウェブサイトのデモを企画してきましたが、今年はさらに効果的・効率的なアイデアをベトナム政府機関関係者が自ら考案しました。

ハノイDARDとDOETが主導して学校教育プログラムとポスターフェスティバルを実施した後、ポスター展示会および受賞ポスターの表彰式はHPAが主催する農産物トレードフェア会場で実施することで、安全野菜の重要性とHPAのウェブサイトにより幅広い消費者に同時にアピールすることが可能となりました。こうして、三機関の綿密な協力体制で全てのコミュニケーション活動の融合が実現しました。

### 民間連携によるさらなる拡散

「生産者による安全な水・土壌の確保からはじまり、安全野菜が大切に育てられ、販売店に届くまで」の、「安全野菜の道のり」について学んだ生徒たちの「安全野菜への思い」が描かれたポスターは、いずれも一般消費者の関心を惹くため、最終選考に残った作品は毎年イオンモールにおいて一般公開されてきました。今年は、消費者の関心喚起と同時に生産者とも交流ができる場として、HPA主催の農産物トレードフェアの一部を展示会会場として開催しました。この展示会イベントにより、学校関係者のみならず幅広い消費者への啓発が可能になります。

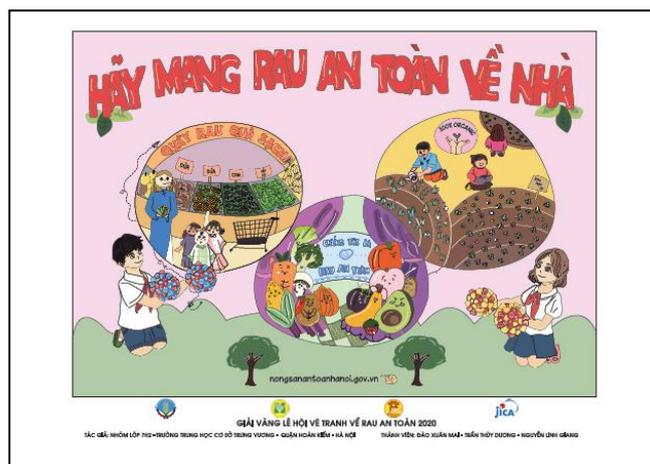
<sup>\*1</sup>ベトナムの教育制度は小学校5年間、中学校4年間、高等学校3年間の12年制

2020年11月5日から9日は、イオンモールのロンビエン店で2019年の最終選考に残った30点のポスターが、11月19日から23日は、ハドン店で2020年のファイナリスト30点のポスターが展示されました。生徒にとってハイライトとなる11月21日の表彰式では、CPMU(Central Project Management Unit)、主催のHPAおよびハノイ市PPMU(Provincial Project Management Unit)の出席のもと、イオンベトナム社、キューピーベトナム社、ハノイ市PPMU、ターゲットグループ生産者より中学生が喜ぶ楽しい賞品各種が提供されました。



ポスター表彰式

金賞受賞作品はデジタル処理後印刷し、安全野菜に対する消費者の思いを届けるべく、政府施設、学校、農産品流通業者、プロジェクトターゲットグループ農家などに配布予定です。ハノイ市のみならず周辺省へも配布することで、さらなる拡散を図ります。



2020年金賞受賞作品

いずれの政府機関も本活動の意義を高く評価しており、プロジェクト終了後も継続すべく来年に向けて準備を進めています。

## CPMUによるワークショップ開催

2020年12月、CPMUが主導し、プロジェクト対象グループ(ハイフォン市 Thai Son 組合、バックニン省 Ngam Mac 組合、ハイズオン省 Tan Minh Duc 組合)においてワークショップを開催しました。ワークショップの目的は、対象グループの生産とマーケティング活動における有益/困難な点の理解、及び、各対象グループがプロジェクトや現地政府機関である農業農村開発局(DARD)、農業農村開発省(MARD)に対して望むことのヒアリングです。参加農家はグループに分かれて議論し、自身や組合の利益や困難について発表しました。



Tan Minh Duc 組合(ハイズオン省)におけるワークショップ

各対象グループはプロジェクトによる安全野菜生産支援、特にGAPや新しい栽培技術の導入支援を高く評価しました。多く挙



Thai Son 組合(ハイフォン市)におけるグループワークの様子

げられた意見の1つは、記帳が徐々に習慣化したことや記帳の重要性を理解したことです。他方、生産で直面する困難として、「不利な天候による影響」、「効果的な肥料や農薬が入手できない」「道路、用水路や配電の整備が不十分」等の意見が挙げられました。同時に、共同出荷や持続的な安全野菜販路の確立についての意見も挙がりました。どの対象グループも安定した安全野菜市場/バイヤーの開拓を望んでいます。時期によっては安全野菜と通常野菜の価格差がほとんどないという意見も挙げられました。

CPMUは参加農家から挙げられた意見や提案が具体的な支援に結びつくよう、関連機関、特にDARD、MARDと共有し、プロジェクト成果の維持・発展を目指していきます。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICAプロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,  
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam

Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com